

いわき市・ツキノワグマ

被害防止プラン

第1弾&第2弾



令和8年4月1日 現在

はじめに

本市では、市民の皆様の被害の未然防止、不安解消等を図るため、

令和7年10月に「**いわき市・ツキノワグマ被害防止プラン**」(第1弾)

同年11月に「**いわき市・ツキノワグマ被害防止プラン**」(第2弾追加対策)を策定

- 下表のとおり、クマに関する通報が多数寄せられているものの、令和8年4月1日現在、クマによる人的被害等の発生はなく、クマと特定できたのは、川前地区で目撃された1件のみ。
- プラン第1弾及び第2弾の内容及び進捗状況(令和8年4月1日現在)については別紙のとおり。

年度	件数
R5年度	15件
R6年度	12件
R7年度	30件

(参考)ツキノワグマに関する通報件数



いわき市・ツキノワグマ被害防止プラン

【第1弾】

①クマ目撃マップの公開

②クマ被害を避けるための行動指針

③緊急銃猟に係る体制の構築

【第2弾(追加対策)】

①AI自動撮影カメラによる監視

②サーモカメラ搭載ドローンによる調査

③被害防止に向けた資機材の追加整備

第1弾 ①クマ目撃マップの公開

クマとの不意の遭遇防止のため、これまでの目撃情報を地図上に見える化した「クマ目撃マップ」を市公式ホームページに公開しました。外出の際に活用ください。

→ R7に寄せられた30件分の通報内容及び対応結果等を記載

クマ目撃マップの画像

赤いアイコンをクリックすると、通報内容等の詳細な情報が表示されます

← 令和7年9月5日／三和町上...

名前
令和7年9月5日／三和町上三坂字水田地内

説明
【内容】体長50cmのクマらしき動物を目撃した。山の方に逃げ去った。
【処理】9/5に関係機関への連絡、防災メールでの注意喚起を実施。9/8に現地確認を実施したところ、痕跡等は発見されなかった。

令和7年度
①令和7年7月4日／三和町差塩字堀添地内
②令和7年7月20日／三和町差塩地内 差...
③令和7年7月29日／三和町中三坂地内 ...
④令和7年7月31日／川前町下桶売地内 ...
⑤令和7年8月11日／小川町西小川地内
⑥令和7年8月21日／小川町楽原地内
⑦令和7年8月25日／平沼ノ内字青井地内
⑧令和7年8月29日／田人町旅人字東中上...
⑨令和7年9月5日／三和町上三坂字水田...
⑩令和7年9月11日／田人町旅人字東中上...
⑪令和7年9月12日／勿来町窪田字大槻地内
⑫令和7年9月13日／瀬戸町地内
⑬令和7年9月24日／三和町下三坂字日向...
⑭令和7年9月28日／常磐藤原町代地内...
⑮令和7年9月29日／山玉町打越地内
⑯令和7年10月1日／三和町下永井字中山...
⑰令和7年10月10日／常磐三沢町反合田地内
⑱令和7年10月12日／中央台飯野3丁目地内
⑲令和7年10月12日／中央台飯野5丁目地内
⑳令和7年10月14日／中央台飯野5丁目地内
㉑令和7年10月14日／内郷高野町北佐地内

第1弾 ②クマ被害を避けるための行動指針(1)

クマによる被害は、皆様一人一人の行動で未然に防ぐことができます

クマを寄せ付けないために！

① ごみを放置しない！

- ▶ 生ごみや食べ残しは密閉し、収集日当日にごみ集積場に出しましょう

② 果樹や農作物等の管理を行う！

- ▶ 庭先にエサ(野菜、未収穫の果物、ペットフードなど)となるものを置かないようにしましょう
- ▶ 果樹や作物などを放置せず、早期に収穫しましょう
- ▶ 不要な果樹は伐採しましょう

③ 人里への侵入を防ぐ！

- ▶ クマはやぶなどに隠れて移動するので、自宅周辺のやぶを刈払い、クマの出没を防ぎましょう
- ▶ 家屋や倉庫、畜舎などに侵入されないように、施錠するなど管理を徹底しましょう



第1弾 ②クマ被害を避けるための行動指針(2)

クマと出逢わないために！

① 目撃情報を調べましょう！

- ▶ クマがどこにいるのかが知ることが大切です
- ▶ クマ目撃マップや自治体のホームページなどで、最新の情報をチェックしてから行動しましょう

② 早朝・夕方の行動を控える！

- ▶ クマは夕方から早朝の時間帯に活発に行動します
- ▶ 特にこの時間帯は、クマがいそうな場所に近づかないように気をつけましょう

③ 音を立てて行動する！

- ▶ 山や森林に近い場所に行くときや、夕方から早朝の時間帯に外出するときは、**笛や鈴、ラジオなどの音が出るものを使って、人の存在をクマに知らせましょう**
- ▶ **なるべく複数人で行動しましょう**



第1弾 ②クマ被害を避けるための行動指針(3)

クマと出遭ってしまったら！

① 落ち着いて行動する！

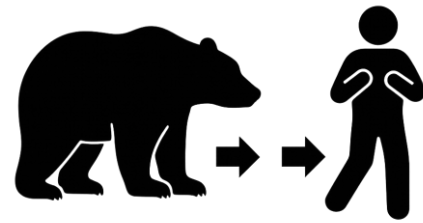
- ▶ パニックにならず、クマを刺激しないように急な動きや大声を避けましょう
- ▶ クマが遠くにいる場合は、慌てずにそっと立ち去りましょう

② ゆっくりと後退する！

- ▶ クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながら離れましょう
- ▶ 背中を見せないように注意し、絶対に走って逃げないでください

③ 防御姿勢をとる！

- ▶ クマと至近距離で出逢ってしまった場合は、直ちにうつ伏せになって両腕で頭部や首を覆い、防御姿勢をとってください
- ▶ クマ撃退スプレーを携行している場合は、クマに向かって噴射してください（風向きに注意）



第1弾 ③緊急銃猟に係る体制の構築(1)

緊急銃猟の概要

人の日常生活圏にツキノワグマやイノシシが出没した場合に、地域住民等の安全の確保の下、市長の権限で銃猟を可能とする、「**緊急銃猟制度**」が創設された(令和7年9月1日施行)



ツキノワグマ

イノシシ

環境省資料より

【緊急銃猟の実施に係る4条件】 ※すべての条件を満たした場合に実施可能

- ①人の日常生活圏への侵入
- ②人への危害を防止する措置が緊急に必要
- ③銃猟以外の方法では困難
- ④銃猟によって人の生命身体に危害が及ぶおそれがない

緊急銃猟実施マニュアル

国の緊急銃猟ガイドラインや関係機関(猟友会、警察、県)の意見等を参考に、緊急銃猟を円滑に実施するための「**緊急銃猟実施マニュアル**」を策定

【マニュアルへの記載事項】

対応体制、関係者の役割、対応フローなど



関係機関との連絡会議の様子

第1弾 ③緊急銃猟に係る体制の構築(2)

緊急銃猟に係る訓練の実施

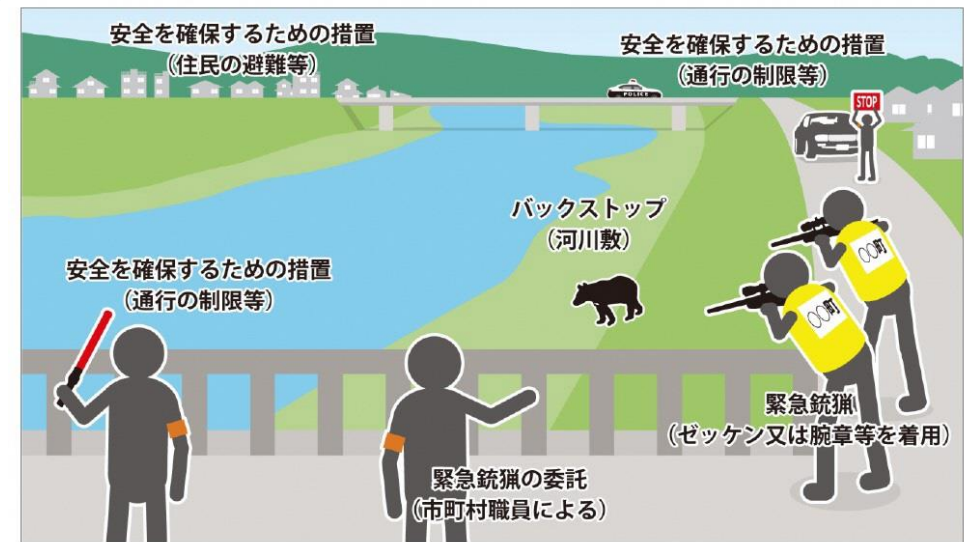
緊急銃猟の実施に備え、関係者間で事前に役割分担や対応の流れを明確にし、共通理解を図るため、**訓練(机上、実地)を令和8年1月に三和地区で実施し、市、警察、猟友会、県など約70名が参加した。**



緊急銃猟対応訓練(机上)の様子



緊急銃猟対応訓練(実地)の様子



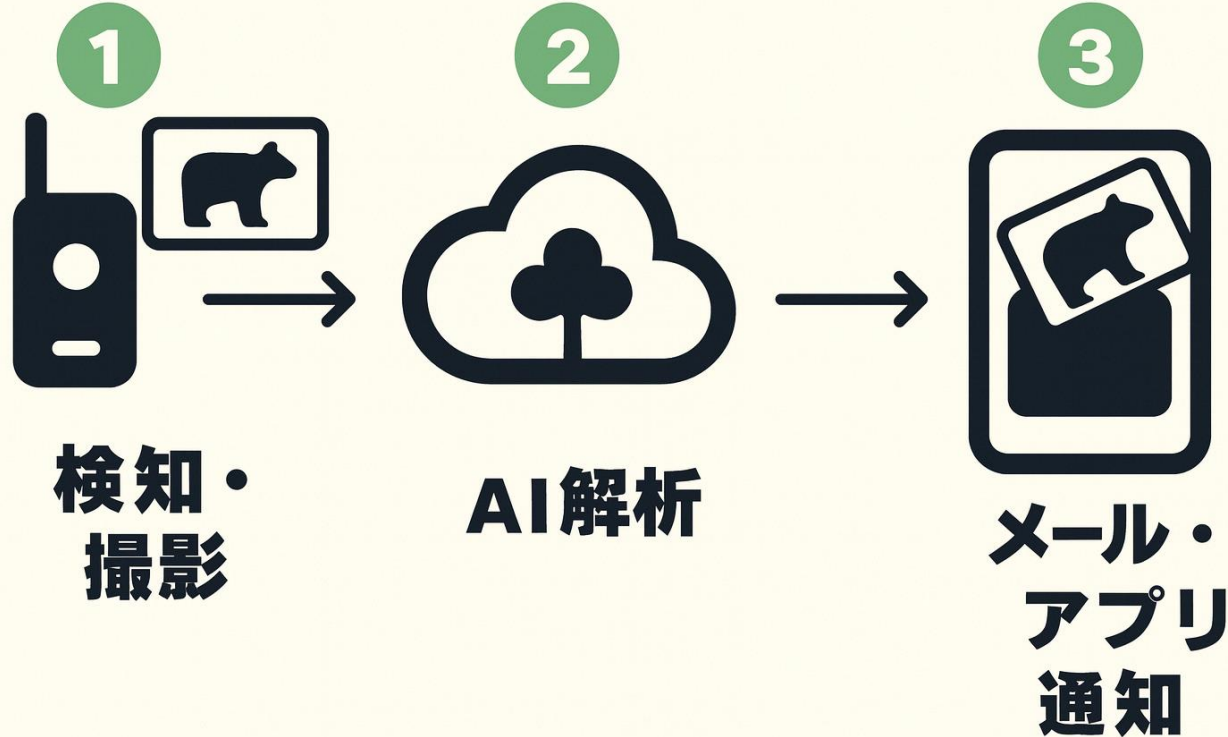
緊急銃猟のイメージ図(環境省資料より)

ただし、緊急銃猟は、諸条件をすべて満たした場合に実施可能な限定的な措置であるため、**通常は、防災メール等による注意喚起や爆竹等を用いた追い払い、また必要に応じ、県に許可を取得した上での、箱わなによる捕獲を行います**

第2弾 ①AI自動撮影カメラによる監視(1)

現地調査をしてもクマかどうか特定できなかった場所へ、**AI自動撮影カメラ**を設置して、迅速に動物種を特定し、適切な周知・対策等を図る

→ カメラ10台を導入。**これまでクマの撮影はなし**(イノシシやタヌキなどの小動物のみ撮影)。



- ① 自動撮影カメラがセンサーで動物を検知
- ② 撮影した画像・動画をクラウド上でAIがクマと判別
- ③ クマの画像・動画付きでメールやスマホアプリなどで通知



現地に行かずとも画像等の確認ができ、迅速かつ効率的な監視・動物種の特定が図れる

⇒ **適切な周知・対策へ**

第2弾 ①AI自動撮影カメラによる監視(2)



川前地区で撮影されたイノシシ



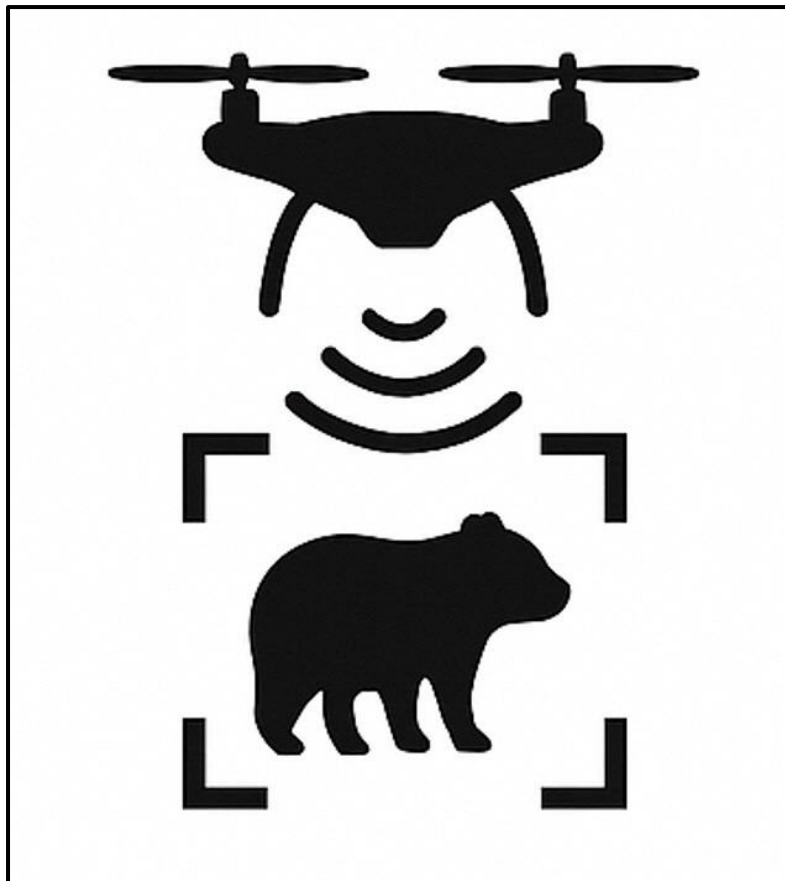
中央台地区で撮影された小動物

第2弾 ②サーモカメラ搭載ドローンによる調査(1)

動物の熱を捉える、**赤外線カメラ(サーモカメラ)**を搭載したドローンを用いて、上空からクマに関する通報があった場所を確認し、クマの生息状況(生息域)を調査する

※ 実証実験を踏まえ、効果的な調査方法を検討

→ 通報があった川前、三和など7地点で調査を実施。**クマは確認されなかった。**



- ① 通報場所の周辺を広範囲に調査
- ② サーモカメラで熱源(動物)を感知
- ③ 通常のカメラでズームし、動物種の判定



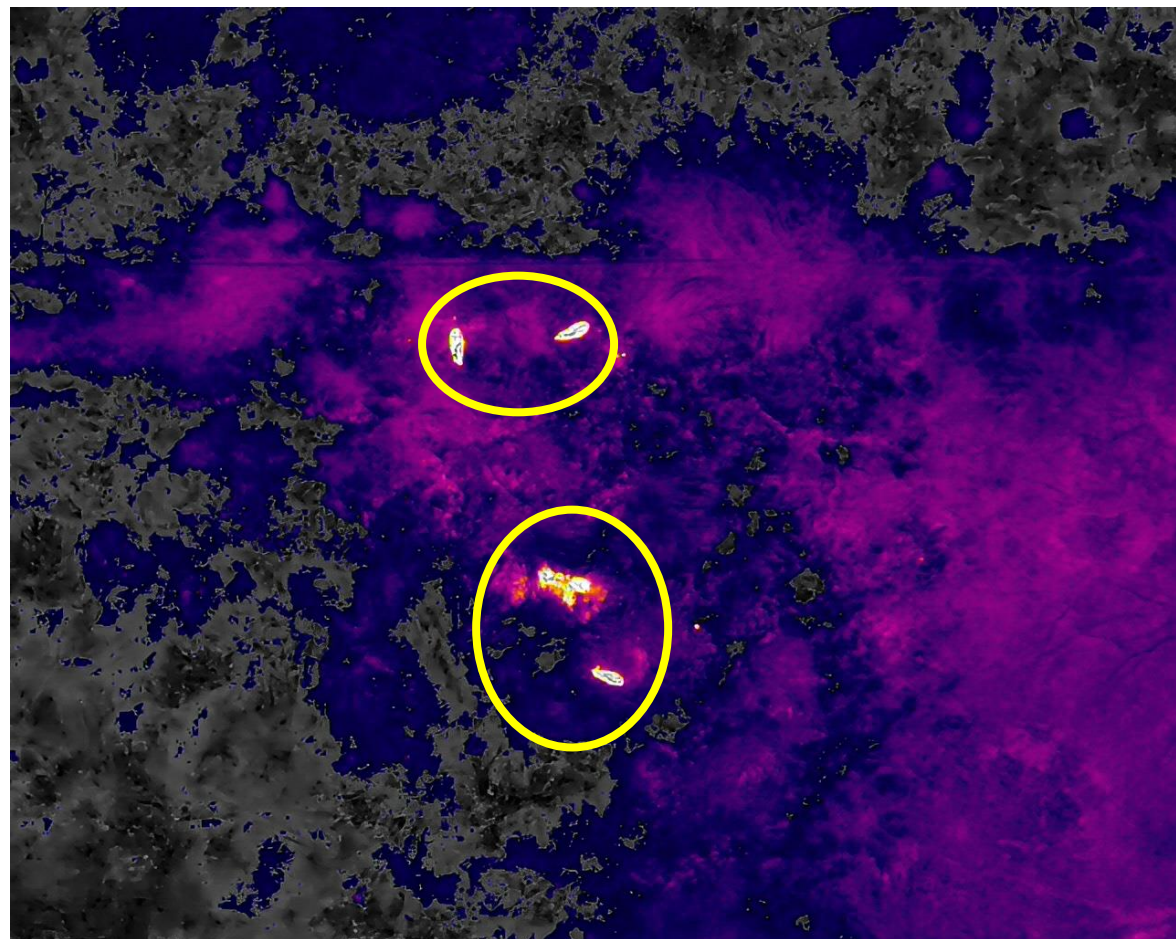
- 人が立ち入れない場所も安全かつ効率的に調査
- 動物種(クマかどうか)の判定も可能

⇒ **適切な周知・対策へ**

第2弾 ②サーモカメラ搭載ドローンによる調査(2)



実証実験の様子(県立いわき公園)



中央台地区での調査結果
※赤外線カメラで複数のイノシシ(黄円部)を確認

第2弾 ③被害防止に向けた資機材の追加整備

市民の皆様の被害を未然に防止するため、クマ対策用の資機材の**追加整備を実施**

- ① 捕獲用資機材(スクエア式箱わな) ⇒ 2基購入済。
住宅等の近くに頻繁に出没した際は、捕獲を実施
- ② クマ鈴とクマ撃退スプレー ⇒ 各支所など関係部署に配備し、イベント・屋外活動等で使用・携行

